

CASBEE 広島 2016年版
ピーテックグループ本社移転新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								2.6
Q1 室内環境					0.38	-	-	2.8
1 音環境				2.8	0.15	-	-	2.8
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	4.0	-	
1.2 遮音				2.6	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能				3.0	0.60	3.0	-	
2 界壁遮音性能				2.0	0.40	1.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	1.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音				3.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境				2.6	0.35	-	-	2.6
2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-	
1 室温				3.0	0.38	3.0	-	
2 外皮性能				3.0	0.25	3.0	-	
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20	1.0	-	
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境				3.0	0.25	-	-	3.0
3.1 昼光利用				3.0	0.30	-	-	
1 昼光率				3.0	0.60	5.0	-	
2 方位別開口				-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策				3.0	0.30	-	-	
1 昼光制御				3.0	1.00	4.0	-	
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	-	
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	-	
4 空気質環境				3.0	0.25	-	-	3.0
4.1 発生源対策				3.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質				3.0	1.00	3.0	-	
4.2 換気				3.0	0.30	-	-	
1 換気量				3.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能				3.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33	3.0	-	
4.3 運用管理				3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御				3.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	2.9
1 機能性				3.0	0.40	-	-	3.0
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性				3.0	0.33	5.0	-	
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.33	3.0	-	
3 バリアフリー計画				3.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観				3.0	0.33	5.0	-	
2 リフレッシュスペース				3.0	0.33	-	-	
3 内装計画				3.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性				2.7	0.30	-	-	2.7
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				2.6	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性				2.2	0.20	-	-	
1 空調・換気設備				1.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20	-	-	
3 電気設備				3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備				2.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.2	0.30	-	-	3.2
3.1 空間のゆとり			4.2	0.30	-	-	
	1 階高のゆとり	階高は、3.9m以上ある。	5.0	0.60	5.0	-	
	2 空間の形状・自由さ		3.0	0.40	4.0	-	
	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	3.0	-	
	3.3 設備の更新性		2.6	0.40	-	-	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性		1.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.32	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.74	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m]: 0.74	4.0	0.50	-	-	4.0
4 効率的運用			2.5	0.20	-	-	2.5
	集合住宅以外の評価		2.5	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制		2.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング		3.0	-	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.3
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60	-	-	2.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.5	0.20	-	-	2.5
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		2.3	0.70	-	-	
	1 消火剤		2.0	0.33	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)		2.0	0.33	-	-	
	3 冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が、一般な建物(参照値)と同等である。	3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮			2.9	0.33	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止		燃焼器具を使用していない。	5.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
	3 周辺環境への配慮		2.4	0.33	-	-	2.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
	1 騒音		3.0	0.33	-	-	
	2 振動		3.0	0.33	-	-	
	3 悪臭		3.0	0.33	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		1.6	0.40	-	-	
	1 風害の抑制		1.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
	3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
	2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	